

平成１８年（２００６年）７月６日
区 民 委 員 会 資 料
区民生活部環境と暮らし担当

平成１７年度中野区環境調査結果概要（速報）について

平成１７年度における大気汚染等の環境調査結果について、概要を別紙のとおり速報版としてとりまとめたので報告する。

なお、６月２５日号の区報により速報版についてお知らせし、また、この内容について、中野区ホームページに掲載するとともに、環境と暮らし分野の窓口等において配付を行う。

平成 17 年度

中野区環境調査結果概要(速報)

発行日:平成 18 (2006) 年 6 月 17 日

編集・発行:中野区 区民生活部 環境と暮らし分野(18中環第492号)

[お問合先 環境公害担当 電話(03)3228-5524]

このリーフレットは昨年度実施した各種の環境調査について、その結果の概要をお知らせするものです。みなさまが中野区における環境問題を考える上での、ご参考になれば幸いです。
なお、今後、より詳細な内容の調査報告書も刊行する予定です。

1 大気汚染常時測定調査

(1)調査内容

大気汚染状況を把握するために区内3か所(区庁舎内・弥生地域センター内・野方図書館内)に測定室を設置し、二酸化硫黄(SO_2)、窒素酸化物(NO_x)、浮遊粒子状物質(SPM)、光化学オキシダント(O_3)、気象要素(風向・風速、温度・湿度)の常時測定を行っています(弥生と野方の測定室は窒素酸化物のみ測定)。

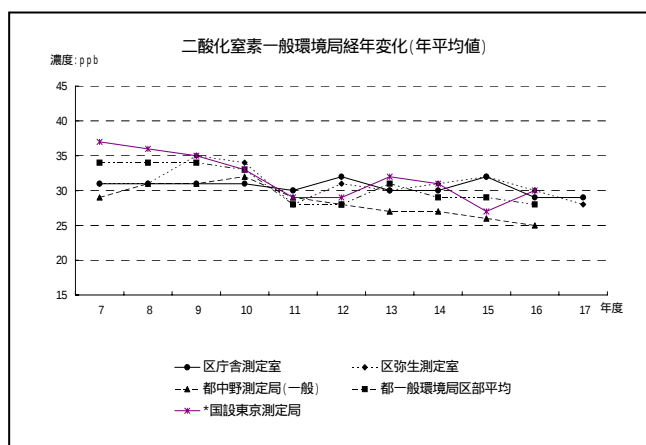
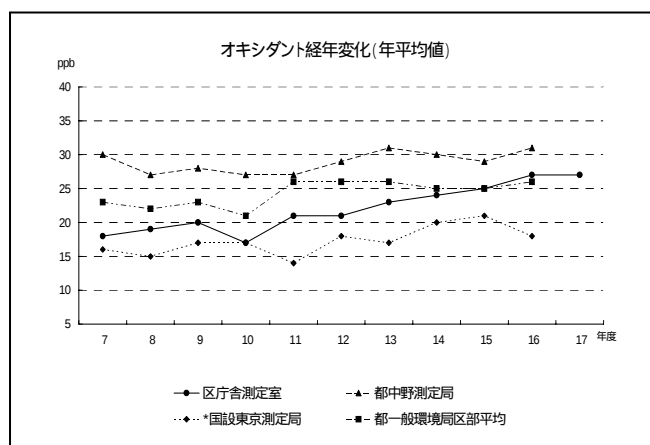
(2)環境基準の適合状況

平成17年度においても、引き続き光化学オキシダントが環境基準を達成できませんでした。その他の項目は全て達成しました。なお、光化学オキシダントは光化学スモッグの主要な原因物質です。

単位:ppm

測定年度		平成 17 年度				平成 16 年度			
測定室	区分	SO_2	NO_x	SPM	O_3	SO_2	NO_x	SPM	O_3
区庁舎測定室	年平均値	0.006	0.029	0.027	0.027	0.006	0.029	0.027	0.027
	環境基準適合状況	○	○	○	×	○	○	○	×
弥生測定室	年平均値	—	0.028	—	—	—	0.030	—	—
	環境基準適合状況	—	○	—	—	—	○	—	—
環七野方測定室	年平均値	—	0.032	—	—	—	0.033	—	—
	環境基準適合状況	—	○	—	—	—	○	—	—

○→適合 ×→不適合 —→測定を行っていない



注:東京都環境局による平成17年度の測定データは、6月1日時点で未公表のため、表記していません。

[参考] 光化学スモッグ注意報地域別発令日数及び被害届出数

年度	発令日数（地域区分別）								都内で発令 があった 日数	被害届出数	
	含む （中野区 区西部	区東部	区北部	区南部	多摩北部	多摩中部	多摩西部	多摩南部		中野区	全体 東京都
平成 17 年度	16 日	8 日	9 日	11 日	15 日	11 日	10 日	10 日	22 日	0 人	247 人
平成 16 年度	14 日	12 日	13 日	13 日	12 日	12 日	10 日	12 日	18 日	21 人	159 人

2 浮遊粒子状物質調査

浮遊粒子状物質中の重金属等の含有状況を把握するために、区庁舎屋上に採取器を設置し、通年で調査を実施しています。

（年平均値、単位：粉じんと鉄は $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、その他の金属は ng/m^3 ）

区 分	粉じん	鉄	鉛	マンガン	クロム	カドミウム	ニッケル	水銀	BaP
平成 17 年度	26	0.39	16	18	3	<1	<5	<0.1	0.11
平成 16 年度	24	0.22	23	14	4	<1	<5	<0.1	0.11

BaP（＝ベンゾ(a)ピレン）：ディーゼル車の排出ガスなどに含まれる発がん性物質

3 二酸化窒素汚染状況調査

環状七号線、青梅街道、大久保通りの道路沿道及び後背地の二酸化窒素による大気汚染の状況を把握するため、簡易採取器（ガスパック）を用いた調査を実施しています（隔月で 10 日間測定、年 6 回実施）。

単位：ppb(1ppb は 0.001ppm)

道路名	測定地点ごとの年間平均値					
青梅街道	北側			南側		
	100m地点	50m地点	沿道	沿道	50m地点	100m地点
	30	32	50	34	32	34
大久保通り	北側			南側		
	100m地点	50m地点	沿道	沿道	50m地点	100m地点
	29	27	38	33	32	35
環状七号線	西側			東側		
	100m地点	50m地点	沿道	沿道	50m地点	100m地点
	30	31	43	65	35	34

4 酸性雨調査

降雨の酸性状況を把握するため、区庁舎低層棟屋上に雨水採取機を設置し、通年で調査を実施しています。なお、「酸性雨」とは、 $\text{pH}5.6$ 以下の雨を言います。

区 分	一括降雨 年平均 pH	初期降雨 年平均 pH	降雨の の範囲
平成 17 年度	4.7	4.5	3.3～6.0
平成 16 年度	4.6	4.7	3.7～6.8

一括降雨：一か月分を同一容器に採取した検体

初期降雨：一降雨について、初期降雨から降雨量 5mm までの雨を 1mm ずつ分けて採取した検体

5 自動車騒音振動交通量調査（騒音の常時監視を含む）

(1)調査内容

区内の幹線 1 2 道路について、自動車による騒音と振動及び交通量の実態の把握のための調査を実施しています。また、自動車騒音については、面的な実態把握のための「常時監視」も実施しています。平成 1 7 年度は、千川通り、中杉通り、目白通りの 3 道路について実施しました。

(2)自動車騒音・振動の環境基準等適合状況及び交通量

区 分		騒音（単位：db）				振動（単位：db）				交通量 （台/日）	
		17 年度		16 年度		17 年度		16 年度		17 年度	16 年度
		昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜		
環状七号線	測定結果	77	77	77	78	54	55	56	57	95,262	98,238
	超過有無	××	××	××	××	○	○	○	○		
青梅街道	測定結果	71	70	71	71	52	50	52	52	56,748	65,358
	要請限度	×	×	×	××	○	○	○	○		
目白通り	測定結果	70	69	71	69	51	48	52	49	47,250	49,158
	超過有無	○	×	×	×	○	○	○	○		
環状六号線	測定結果	69	67	71	70	58	54	61	56	46,302	46,008
	超過有無	○	×	×	×	○	○	○	○		
千川通り	測定結果	71	68	71	69	48	44	48	44	22,008	23,178
	超過有無	×	×	×	×	○	○	○	○		
新青梅街道	測定結果	70	70	71	70	50	48	50	48	26,466	27,396
	超過有無	○	×	×	×	○	○	○	○		
中野通り	測定結果	69	68	69	68	42	38	44	39	23,340	22,728
	超過有無	○	×	○	×	○	○	○	○		
方南通り	測定結果	68	65	69	67	50	46	50	48	23,748	23,106
	超過有無	○	○	○	×	○	○	○	○		
早稲田通り	測定結果	71	69	71	70	50	48	49	47	23,106	24,324
	超過有無	×	×	×	×	○	○	○	○		
大久保通り	測定結果	68	67	69	67	39	36	40	38	14,814	16,308
	超過有無	○	×	○	×	○	○	○	○		
中杉通り	測定結果	66	63	68	67	39	36	54	50	9,498	9,582
	超過有無	○	○	○	×	○	○	○	○		
本郷通り	測定結果	68	66	67	65	51	50	52	49	12,072	11,964
	超過有無	×	×	×	×	○	○	○	○		

××→要請限度超過 ×→環境基準超過 ○→環境基準以内

要請限度：騒音規制法第 17 条及び振動規制法第 16 条の規定に基づき、環境省令で定める限度。

この限度を超過していることにより、周辺の生活環境が著しく損なわれていると認められる場合、区市町村長は、都道府県公安委員会等に対して道路交通法等の規定による措置をとるべきことを要請できる。

(3)自動車騒音の「常時監視」結果（沿道 50mまでの地域の面的な評価）

昼間・夜間とも環境基準の達成率が 100%であったのは中杉通りで、他の 2 区間は昼間、夜間とも 100%に達しませんでした。

道路名	車線数	用途地域	沿道の騒音レベル(単位：db)		達成率(%)	
			昼間	夜間	昼間	夜間
千川通り	2	近隣商業	71	69	66.0	66.0
中杉通り	2	近隣商業	66	64	100.0	100.0
目白通り	4	近隣商業	71	71	76.6	49.4

6 環状六号線周辺環境調査

(1)調査内容

環状六号線地下の高速道路や地下鉄の建設、また、道路拡幅に伴う、環境状況の変動を把握するため、沿道及びその周辺地域において二酸化窒素汚染状況調査並びに自動車騒音振動交通量調査をそれぞれ年2回、実施しています。

(2)二酸化窒素汚染状況調査

簡易採取器（ガスパック）を用いて、沿道及び後背地の二酸化窒素による汚染の状況調査を行っています。測定地点は、東中野換気所地区、本町出入口地区、本町換気所地区の合計18か所です。

単位：ppb(1ppbは0.001ppm)

実施時期	測定地区名	測定地点ごとの濃度					
		西側			東側		
		100m地点	50m地点	沿道	沿道	50m地点	100m地点
平成17年 9月	東中野換気所	24	22	29	29	25	25
	本町出入口	28	37	45	34	28	23
	本町換気所	36	31	46	33	27	26
平成18年 1月	東中野換気所	25	27	25	31	27	28
	本町出入口	30	28	25	41	36	24
	本町換気所	27	31	31	29	27	29

(3)自動車騒音振動交通量調査

調査地点	調査期間	騒音（単位：dB）			振動（単位：dB）			交通量 (単位：台)
		昼	夜	日平均	昼	夜	日平均	
中央二丁目 (東部地域センター前)	17. 9/13～9/14	69	67	68	58	54	56	46302
	18. 1/17～1/18	69	67	68	49	47	48	43722

7 河川水質調査

(1)調査内容

神田川及び妙正寺川の水質調査を合計4地点、年4回実施しており、平成17年度は5月、9月、11月、2月に実施しました。なお、流域各区と連携して同一日に調査を行っています。

○主な測定項目（水域類型Cで環境基準の設定があり、中野区で測定しているもの）

- BOD（生物化学的酸素要求量）・・・微生物が、水中の有機物等を二酸化炭素や水などに分解するために必要な酸素の量。この値が大きいほど、汚濁の原因となる有機物の量が大きいことを示します。
- DO（溶存酸素）・・・水に溶けている酸素の量。この値が低いほど、魚介類の生息が困難になります。
- pH（水素イオン濃度）・・・水が酸性であるかアルカリ性であるかを示す指標です。pH7が中性、それ未満が酸性で、7を超えるとアルカリ性です。
- SS（浮遊物質）・・・水中にただよっている固形物質です。

(2)環境基準適合状況

平成17年度は、平成16年度に引き続き、全ての地点で、上記の項目全ての環境基準に適合しました。

採水地点		平均値			
		BOD(mg/l)	DO(mg/l)	PH	SS(mg/l)
神田川	向田橋	1.0	10.0	7.6	2
	南小滝橋	1.5	11.1	8.1	2
妙正寺川	三谷橋	1.2	11.8	7.1	4
	天神橋	1.7	11.8	7.2	2
生活環境の保全に関する環境基準（水域類型C）		5以下	5以上	6.5以上8.5以下	50以下